

2020年度 独創的研究助成費 実績報告書

2021年 3月31日

報告者	学科名	デザイン学科	職名	准教授	氏名	高橋俊臣
研究課題	デザイン思考の活用					
研究組織	氏名		所属・職		専門分野	役割分担
	代表	高橋俊臣	造形デザイン学科 准教授		色彩学・広告	研究全般
	分担者					
研究実績の概要	<p>1：調査 デザイン思考を推進している IDEO の書籍を中心に読み解いた。また、デザイン思考の研究を進めている北陸先端科学技術大学院大学の永井由香里先生にデザイン思考についてヒアリングを行なった。デザイン思考の5つのプロセス（共感、定義、創造、プロトタイプ、テスト）において、創造的な活動を支援できる具体的な思考法が求められていることがわかった。つまりアイデア開発の論理的な解明がデザイン思考の解明につながる。</p> <p>2：考察 思考法を体系化するにあたり、アイデアを感じる、または評価できるモノコトを無作為に調査。また、本研究者は広告業務に20年間携わってきたこともあり、その経験も参考に「くっつけ思考」を考案した。これは2つ以上の要素をくっつけて新しいモノコトを生み出す思考法である。</p> <p>3：プロトタイピング 「くっつけ思考」指南書のプロトタイプを制作。イラストを活用し、書き込みができるよう白地を生かした。このマニュアルを活用し、高橋ゼミ生5人に実践的な作業の中でアイデア開発に取り組んでもらった。</p>					

※ 次ページに続く

<p>研究実績 の概要</p>	<p>4：吉備中央町 PR ツール企画 定住促進を目的にした、イベントなどで配る PR ツールの企画に参加。26 企画を提案し、高い評価をいただいた。</p> <p>5：毎日広告デザイン賞応募 参加企業の課題に対して新聞広告を制作する一般公募に応募。12 点を企画からフィニッシュまで行なった。成果物に対しては高い評価ができる完成度であった。</p> <p>6：総社デニムマスク PR 総社市の福祉事業で制作販売をしている総社デニムマスクのプロモーションを企画から実施まで行なった。ゼミ生 5 人はチームとして取り組み、デザイン思考のプロセスを体験しながら「くっつけ思考」を活用したアイデア開発を行い、PR 活動に取り組んだ。</p> <p>7：「くっつけ思考」マニュアル 学生や企業向けにマニュアル本を 500 部印刷。引き続き研究を行う。</p>
<p>成果資料目録</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・くっつけ思考 ・吉備中央町 PR ツール案 ・吉備中央町 PR ツール案について ・毎日広告デザイン賞応募作品一覧 ・総社デニムマスク PR について